



帯山小学校だより

No.15 R6.3.29 文責 校長 西方 浩一

卒業

今年の卒業式では、昨年十月にご逝去された谷村新司さんの言葉について話をしました。

谷村さんは、私が中学生の頃から大好きな「アリス」というバンドのリーダーです。私は、谷村新司さんの影響でギターを始めました。その「アリス」は、「チャンピオン」という谷村さんが作詞・作曲した楽曲でヒットチャートナンバーワンに輝きます。



谷村さんは、生前のテレビ番組のインタビューで次のようなお話をされています。「ナンバーワンは、次のナンバーワンが出てきたら消えてしまうんです。ナンバーワンより大切なのは、オンリーワン。我々はそれを目指しました。」

子どもたちにも、ナンバーワンになれなくてもいいから、ぜひ、たった一人のかけがえのない自分、オンリーワンになってほしい、そう願っています。これからの予測が難しい社会では、自分の力が最も発揮できる場所や自分にしかできない力が求められます。

子どもたちのこれからの人生の中で、失敗や悔しい経験をすることもあるでしょう。しかし、そこからしか学べないこともあります。壁に直面した時には、原因を探り、策を練り、果敢に挑み、乗り越えていってほしいと願っています。



先に行く者、残される者、残される者もやがて行く者

この度の定期異動で13人の職員が帯山小学校をあとにします。これまで「愛（あい）のある学校」を目指して、それぞれの分野で力を発揮してもらいました。本校での経験を、赴任先、また、今後の人生に生かしてもらいたいと思います。保護者や地域の皆様、大変お世話になりました。

1年間、お世話になりました。

今月21日の卒業式、22日の修了式、そして、本日(3月29日)の退任式をもちまして、今年度の行事等はすべて終了しました。この間、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。今年度は、できる限りコロナ禍前の状況に戻して教育活動を行ってまいりましたが、ご期待に十分添うことができなかつたのではないかと考えます。次年度も変わらぬご理解とご協力を応援よろしくお願いたします。



なお、今年度の帯山小学校便りは本号が最終号となります。今年度は、昨年度より1号多い全15号を発行させていただきました。発行の度、保護者や地域の皆様から様々な声をいただきました。1年間のご愛読ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いたします。